

* 水沢からの譲渡品到着

岩手宮城内陸大地震が発生し、岩手県、宮城県に大きな被害が出ました。奥州市の水沢 VERA 観測所には大きな被害がなかったことはなによりでした。水沢 VERA 観測所の本館は、三鷹の研究棟と同じように耐震強度不足の補強工事のため本館機能を貸しビルに疎開するため備品などを整理していました。その一環の作業で水沢では備品などの整理が行われていました。4月下旬に1号官舎の有効利用と保存のグループの一員として水沢を訪問した中桐は、水沢にある古い観測器械などの調査を行うとともに、それらの中で不要と判断され物のなかからアーカイブ室で保存展示したい7点を譲渡していただき、三鷹への輸送をお願いしていた。譲渡していただくことになったものは次のとおりです。

- 1) 柱時計 1点
- 2) セシウム原子時計 1点
- 3) ルビジウム原子時計 1点
- 4) 乾板読み取り機(コンパレータ)(写真濃度測定器) 1点
- 5) 乾板読み取り機(コンパレータ)(ナルミマイクロフォトメータ) 1点
- 6) 分光光度計 1式
- 7) 乾板読み取り機(コンパレータ)(島津のコンパレータ) 1点

これらが6月30日、三鷹に到着し、自動光電子午環ドーム望遠鏡フロアに搬入されました。この中でマイクロフォトメーターは重量物で屈強な作業員4人でやっと2階のフロアに運び込みました。写真1はパワーゲートから下ろされた荷物を担ぎ帯で持ち上げようとしているところです。



写真 1 搬入光景

マイクロフォトメーターは、乾板で撮られたスペクトル線をスキャンしながら写真濃度計で読み取る事で吸収線などのプロファイルを書かせる装置でスペクトル解析の必需品であったが、スペクトル撮影も写真乾板から CCD カメラに移行し、こういった測定器械が不要になってしまい、三鷹にあったマイクロフォトメーターは全て廃棄されてしまい残っていなかったのも、水沢にまだ保存されていたことは幸運であった。写真2が自動光電子午環望遠鏡フロアに運び込まれたナルミのマイクロフォトメーターである。



写真 2 ナルミのマイクロフォトメーター

写真3の左は写真濃度測定器、右がコンパレータ（座標測定器）である。

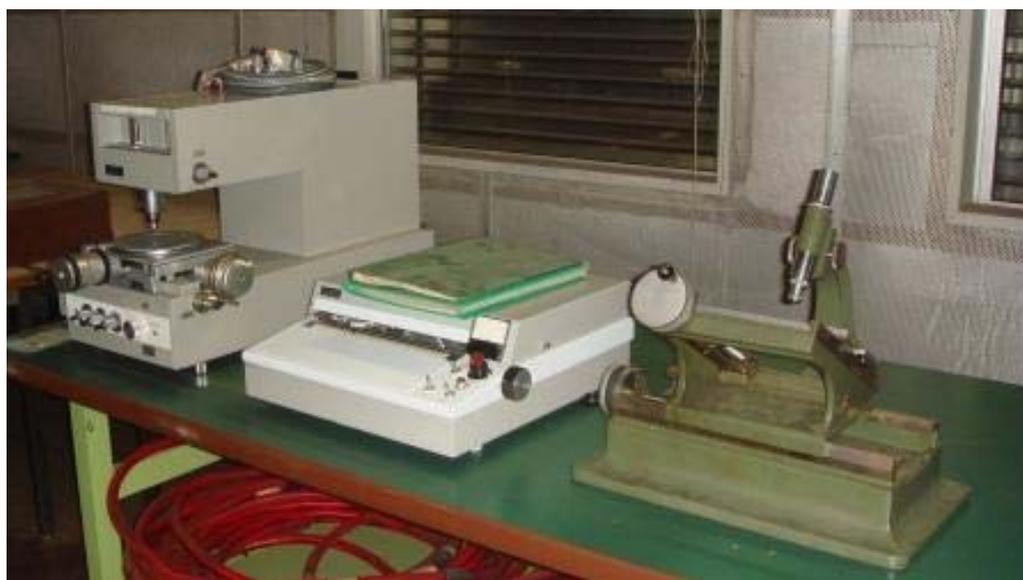


写真 3 写真濃度測定器とコンパレータ

写真4はセシウム原子時計、ルビジウム原子時計と柱時計である。



写真 4 左からルビジウム原子時計、セシウム原子時計、柱時計
譲渡された物の内、柱時計は1号官舎が「星と森と絵本の家」になった時点で、古い時計として展示する事を考えている。

写真5は分光光度計一式である。



まだ、梱包を解いたばかりで仮に机の上に並べた。展示方法についてはこれから考えたい。